

事務事業名	林地崩壊防止事業(R3災)	所属部	建設部	所属課	農地整備課 (災害復興T)
政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち《定住環境》	所属G	災害復興G	課長名	今岡 久
施策名	〈16〉消防・防災対策の推進	担当者名	高木 洋輔	電話番号	0854-40-1062
目的	対象 市民 意図 生命・財産を火災・災害から守る。	予 算	0:130:0:1	(内線)	2474
基本事業	〈046〉防災施設の整備	科目	1:040:0:1	大 事 業 名	林地崩壊防止事業
目的	対象 市民 意図 被害にあわない、被害が拡大しない。	中 事 業 名		中 事 業 名	林地崩壊防止事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所を復旧する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返(年度～) ☒ 期間限定複数年度 (R3 年度～ R5 年度)	
降雨により人家裏山が崩壊し人家に影響を及ぼした場合、その復旧を目的とする。 復旧工法:コンクリート擁壁、簡易法枠、現場吹付法枠(※事業費は100万円以上) 受益者負担は世帯の所得状況により、(A)住民税非課税世帯:10%、(B)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円未満:12.5%、(C)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円以上:15% ※R3災は(A)5%、(B)6.25%、(C)7.5%(特例措置) 補助額は、(A)事業費×1/2、(B)(事業費-100万円)×1/2、(C)(事業費-200万円)×1/2	
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<R3災> R5へ繰越した復旧工事27箇所が完了し、全箇所復旧完了	R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を通常の半分に引き下げた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 発注率(年度末時点)	%	0	100	100	
イ 完了箇所数(全体72箇所)	箇所	0	45	27	
ウ 完了率(年度末時点)	%	0	64	100	
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【R4繰越(R3災)】27箇所 工事費:172,064千円、事務費:473千円 計:172,537千円 ※地方債:緊急自然災害防止対策事業債	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円	13,072	231,036	79,493	
	地方債	千円	20,000	248,200	77,700	
	その他	千円		26,656	15,329	
	一般財源	千円	30	7,839	15	
	事業費計	千円	33,102	513,731	172,537	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績 における成果	早期復旧に努め、生活の安全が確保された。 R3災分は、R5年度中に全箇所復旧完了。
② 事業実施 するうえでの 課題	人家裏の施工性の悪い場所での復旧工事になるため、工期が長くなる場合がある。
③ 課題解決 に向けた改革 改善等	県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。